

## 第82回 黄 景逸さん (東北大学)

日本心理学会若手の会コラムリレーでは、若手のみなさまに、ご活躍されている領域や普段の生活についてご紹介いただきます。

第82回目は、黄 景逸さんにご執筆いただきました。

### ネット上の「正義」は本当の「正義」なのか

私は台湾からの留学生です。大学を卒業後、刑務所の刑務官の職歴を経て、台湾法務部矯正署（日本法務省矯正局相当）の職員となりました。在職中に国立中正大学犯罪抑止研究科に入学して、犯罪者の矯正処遇に関する研究を行って、修士号を取得しました。そして、犯罪心理学の研究を深めるために、東北大学大学院文学研究科心理学研究室の後期課程に進学しました。（現在、休職して修学中）

修士時代は刑法に触れる「犯罪」のみに注目していましたが、刑法に抵触しない逸脱行為があり、その行為が個々人の道徳観が他罰的態度を誘発して、ネット上の「炎上」など、社会的制裁となってしまう現象を気にしています。特に、他者の逸脱行為に対して過剰な非難を浴びせる発信がSNS上で拡散して、非難された人が自殺する事件まで起きてしまいました。

このような「制裁」行為は本当の「正義」なのか？ その問題を探究するため、法律の観点だけではなく、個人的道徳観などの正義に対する態度を注目する必要があると考えていて、今は課題として研究しています。

黄 景逸 (Ching Yi HUANG)

【所属】 東北大学大学院 文学研究科 総合人間学専攻 心理学研究室

【連絡先】 [fdsa1124@hotmail.com](mailto:fdsa1124@hotmail.com)

【その他】 司法・刑務所に関わる職業に勤務していたので、研究課題以外、日本・台湾の刑事施設の矯正処遇に関する研究も興味を持っています。